

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ひーと海田中央教室		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 25日		2025年 12月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33人	(回答者数) 14人
○従業者評価実施期間	2025年 12月 10日		2025年 12月 29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8人	(回答者数) 5人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	十分なスペースを生かし、利用者ごとに必要な支援を提供できること、学習と活動など切り替えしやすい環境を作れている。	下校時間によっては、学習と遊びの時間が重なってしまうこともあるが、利用者が落ち着いて取り組める環境の提供している。また、自由時間では創作や運動意欲を体現できるよう都度対応している。	スペースが広いことで、自由時間の遊びが多様様になってしまふ。集団で遊ぶ際のルールや周囲への配慮といった意識が持てるような支援を絵カードや声掛けを通じて行っていききたい。
2	利用者(保護者様を含む)との関係構築と満足度	利用者の様子や家庭環境にも配慮し、必要な情報をスタッフ間で共有することで適切な支援を行えるよう行動している。また、関係機関にも必要に応じてやり取りを行うことで連携を深めている。	保護者様からの困りごとをより把握しやすい環境・関係性をより強めていく。保護者会や茶話会、療育に接していただけるイベント等を今後も多く参画していく必要があると感じている。
3	利用者が日々の活動を安心して楽しく過ごせている	職員間で利用者の特性や状態を共有し、注視すべき点や対応するスタッフについてミーティングを行っている。また、遊びを通じて支援できることなども考えている。	様々なコンテンツから、利用者にご提供できる遊びを探するなどスタッフ全員で意見を出し合っている。利用者の特性を理解しその遊びの中で支援につながるようにしていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流(児童クラブや児童館といった地域の子どもや地域住民)	主に事業所内での活動を主とした支援方針のため、他の児童との接触が少ない。また、利用者の特性から連携が難しいと感じる面もある。	近隣の公園など、まず地域の子供との関わりがある場所での取り組みから考えていきたい。また、イベントとして事業所以外の施設を借りて交流機会を設けていきたい。
2	事業所内での各種研修(感染症対策や虐待防止等)や避難訓練の実施状況の報告やマニュアル等の周知	契約時の説明や実施時にはSNSへのアップやhugへの記録で報告は行っている。しかし、実施時の周知が十分に出来ていないのと、その日の利用者のみが避難訓練を実施していることが全体的な周知に至っていない要因とを感じる。	研修や避難訓練についてはSNS・LINE等のオンラインや通信を活用し、頻度を上げ全体的な周知を図っていく。
3			